

# 令和元年度操業状況等把握システム開発事業委託業務 企画提案選定要領

## 1 目的

操業状況等把握システム開発事業委託業務企画提案公募により参加事業者から提出のあった企画案等の審査を行い、当該事業における委託業者順位を決定する。

## 2 評価の基本的な考え方

- (1) 事業を委託する候補者（受託者）の順位を決定する。
- (2) 全ての申請者を同列に扱い、公平に審査する。

## 3 審査の方法

申し込みが6者以上あった場合、漁政課において一次審査（資格及び書類審査）を行い、上位5者を決定する。ただし、当該審査により上位5者を決めがたい場合は、審査合格者全員を2次審査対象者とする。応募が6者未満の場合は、一次審査を実施せず、応募資格要件の適合を確認した上で、すべてを審査する。

### (1) 一次審査

各提案事業者の応募内容について、資格要件及び企画提案書の書類審査(仕様書に沿った内容かどうかの形式審査)を行い、二次審査を実施する上位5者を決定する。

### (2) 二次審査（プレゼンテーション及び書類審査）

委員は、各社の企画提案書並びにプレゼンテーションに基づき、審査シートに配点する。審査対象の数によって、以下の手法で行う。

(審査対象が2者以上の場合)

ア 審査会委員は、申請者から提出された書類の内容及びプレゼンテーションを踏まえ、評価基準にそって評価点数を付け、委員個々において順位付けを行う。

イ 審査会委員のつけた順位をポイントに置き換え、全委員のポイントを集計し、最もポイントの小さい申請者を上位として、委託候補者の優先順位を決定する。

(例：1位＝1ポイント、2位＝2ポイント)

ウ 最高順位を獲得した申請者が複数存在する場合は、審査委員会で総合的に判断し、順位を決定する。

(審査対象が1者の場合)

ア 各委員は、それぞれ評価点数をつけ、委員毎に合計点数を算出する。

イ アの合計点数から委員全体の平均点を算出し、その平均点を基に審査会で

協議し、決定する。

### 3 評価基準及び配点

- (1) 提出された企画提案書の評価は、企画提案に関する内容、運営に関する内容、見積額に関する内容の3項目に分類し、プレゼンテーションの評価はプレゼン力を企画提案書評価表に基づいて行うこととする。
- (2) 配点は小項目毎に定める点数とする。
- (3) 各項目の評価については、概ね次に記す5段階評価を目安とし、点数を付けることとする。

評価	配点 (20 点)	配点 (15 点)	配点 (10 点)	配点 (5 点)
大変良い	20	15	10	5
良い	16	12	8	4
普通	12	9	6	3
悪い	8	6	4	2
とても悪い	4	3	2	1
不可	0	0	0	0

◎ 企画提案書評価表：別紙

## 操業状況等把握システム開発事業委託業務企画提案資格評価表

No.	応募企業名等		住所(県及び市町村名)	資格要件(○×記入)			適否
	略	企業(代表企業)名		①自治令第167条の4第1項	②県内企業の参加	④管理体制及び専任担当者配置	
1	A						
2	B						
3	C						
4	D						
5	E						
6	F						
7	G						
8	H						
9	I						
10	J						

**【要件①】 確認資料: 誓約書**

地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。共同企業体の場合は、構成員全てがこの要件を満たすこと。

※自治令第167条の4第1項

普通地方公共団体は、特別の理由がある場合を除くほか、一般競争入札に当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者を参加させることができない。

**【要件②】 確認資料: 誓約書、定款**

単独で本業務を実施する場合は、沖縄県内に本店又は支店を設置している法人であること。コンソーシアムで本業務を実施する場合には、沖縄県内に本店又は支店を有する法人が必ず1社以上参加していること。

**【要件③】 確認資料: 誓約書、組織体制図**

当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、主たる担当者を1名以上、コンソーシアムにあつては、それぞれ1名以上の主たる担当者を割り当て、十分な遂行体制がとれること。

操業状況等把握システム開発事業委託業務企画提案内容評価表

評価項目			評価のポイント	確認資料	配点	企業略名									
No.	大項目	小項目				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	企画提案内容	ソフトウェア構築	漁業者及び漁協職員等が出来るだけ手間をかけない操作方法により、確実にデータ収集ができ、必要とするデータが出力され、セキュリティ対策が施された提案内容となっているかを評価する。(オプション機能含む)	企画提案書	20										
		ハードウェア構築	漁船に設置しても操業に支障を来さない機器であり、最終委託期間(令和8年3月31日)まで機能維持が図られ、位置情報記録機器については手動で電源を切ることが可能となっているかを評価する。	企画提案書	15										
		サポート(保守)	保守期間が最終委託期間(令和8年3月31日)までであり、適切な操作指導及び迅速なサポートができる内容となっているかを評価する。	企画提案書	15										
				小計1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	運営内容	事業スケジュール	具体的な事業計画となっており、期限内に実施可能な内容となっているかを評価する。	企画提案書(事業スケジュール)	10										
		執行体制	確実に事業を執行できる体制、能力を有しているかを評価する。	企画提案書、執行体制図、実績書(様式3)	15										
				小計2	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	見積内容	見積額の妥当性	見積額及び積算内容の妥当性について評価する。	見積書	10										
				小計3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				計(1~3)	85										

① 委員署名 \_\_\_\_\_

操業状況等把握システム開発事業委託業務企画提案プレゼン評価表

評価項目			評価のポイント	確認資料	加減点	企業略名									
No.	大項目	小項目				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	プレゼン力	態度	挨拶、声の明瞭さ、見せ方		5										
		説明内容	提案書に添った内容、論理的		5										
		時間管理	時間内（20分）での説明	5分以上不足	-1										
				1分以内オーバー	0										
				2分以上オーバー	-2										
3分以上オーバー	-4														
質疑対応	適切応答		5												
<b>計</b>					<b>15</b>										

① 委員署名 \_\_\_\_\_